

道路建設事業の再評価項目調書

事業名		一般国道53号 おかやまきた 岡山北バイパス		事業主体	中国地方整備局
所在地		おかやま おかやま つしま おかやま みつ みつ ちようなかやま 岡山県岡山市津島～岡山県御津郡御津町 中山			
事業概要		一般国道53号は、岡山市を起点として津山市を經由し鳥取市に至る延長約150kmの主要幹線道路である。 岡山北バイパスは、岡山市北部の一般国道53号の交通混雑緩和及び交通安全の確保を図るとともに、岡山市中心部と山陽自動車道（岡山IC）及び岡山空港とのアクセス強化を目的とした延長10.5kmの道路であり、（主）岡山賀陽線以北は、地域高規格道路「空港津山道路」の一部を構成するものである。			
事業着手		昭和49年度			
総事業費		約590億円	既投資額	平成14年度末まで 約470億円（進捗率80％）	
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	ア)事業をめぐる社会情勢等の変化 岡山市北部の当該地域周辺は、大規模商業施設、団地等の開発ならびに岡山空港の開港、国立病院の開院などにより交通量が増大し、慢性的な交通混雑や交通事故の多発が生じている。 S63.3 岡山空港 開港（滑走路2,000m） H5.3 山陽自動車道 岡山IC～岡山JCT間供用 H5.12 岡山県免許センターが御津町中山へ移転 H11.5 岡山中央病院が岡山市伊島北に開院 H13.4 国立病院岡山医療センターが岡山市田益へ移転 H13.10 岡山空港 滑走路3,000m化 イ)費用対効果分析			
		道路事業に要する費用		道路整備による効果	
		総費用 評価対象期間内 ＝整備期間＋40年		走行時間 短縮便益 283億円 走行経費 減少便益 18億円 交通事故 減少便益 11億円 総便益 ＋ ＋ ＝ 312億円(B)	
		総事業費 590億円 部分供用に要した事業費 460億円 残区間整備に必要な事業費 130億円 （ 現在 価値換算事業費 96億円）			
		事業費 96 億円 維持管理費 28 億円			
		総費用 ＋ ＝ 124 億円(C)			
		費用対効果分析の結果		B / C = 2.5	
		「費用便益分析マニュアル(案)による」 (H10.6.26 付け建設省道経発第14号通達)			

事業名		一般国道53号 おかやまきた 岡山北バイパス	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	事業の必要性に関する視点	ウ)事業の進捗状況 1. 主な経緯 昭和33年 3月 都市計画決定(津島～万成) 昭和49年度 事業着手 昭和50年 9月 都市計画決定(万成～吉宗) 昭和55年度 用地買収着手 昭和61年度 工事着手 昭和63年 3月 (県)上芳賀岡山線～(市)大岩小幸田線間L=2.3km暫定2車供用 平成 2年 1月 都市計画決定(吉宗～御津町中山) 平成 3年 3月 津島地区 L=1.5km供用(一部暫定2車供用) 平成 5年12月 津島地区 L=0.4km供用 山陽自動車道 備前IC～岡山IC間供用 平成 8年 3月 (市)大岩小幸田線～(県)日応寺栢谷線間L=3.2km暫定2車供用 平成10年10月 (県)日応寺栢谷線～国道53号 L=1.3km暫定2車供用 平成10年度 事業再評価 平成13年 7月 津島京町交差点～岡山IC間L=2.0km4車線供用 平成13年12月 岡山IC～(主)岡山賀陽線間L=0.7km4車線供用 2. 事業の進捗状況 ○工事の進捗状況 再評価時の工事進捗率は約58%であったが、段階的に整備を進め平成13年度までにバイパス区間延長8.7km(完成2.6km、暫定6.1km)を供用したところである。 また、平成14年度末までの進捗率は約74%である。 ○用地補償の状況 再評価時の用地進捗率は約84%であったが、平成12年度末までに、バイパス区間の用地買収を完了し、全体の約85%の用地買収を完了しているところである。		

事業名		一般国道53号 おかやまきた 岡山北バイパス	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	事業進捗の見込み	・用地の進捗見込み 残る現道拡幅区間については早期、用地買収に努めることとしている。 ・工事の進捗見込み 現道拡幅区間については、用地買収の完了した区間より工事に着手することとしている。		
	コスト縮減や代替案の可能性	・偏平なトンネル断面を採用し、内空断面を縮小することにより、コスト縮減が可能と考える。 ・建設副産物の発生抑制や再生材利用等により、今後ともコスト縮減に努めることとしている。 ・また、 、 の視点による再評価より、代替案を検討する必要はないと考えている。		
今後の対応方針		・事業継続 現道拡幅区間については、平成20年代前半の供用を目指し事業を推進する。		

一般国道53号 岡山北バイパス

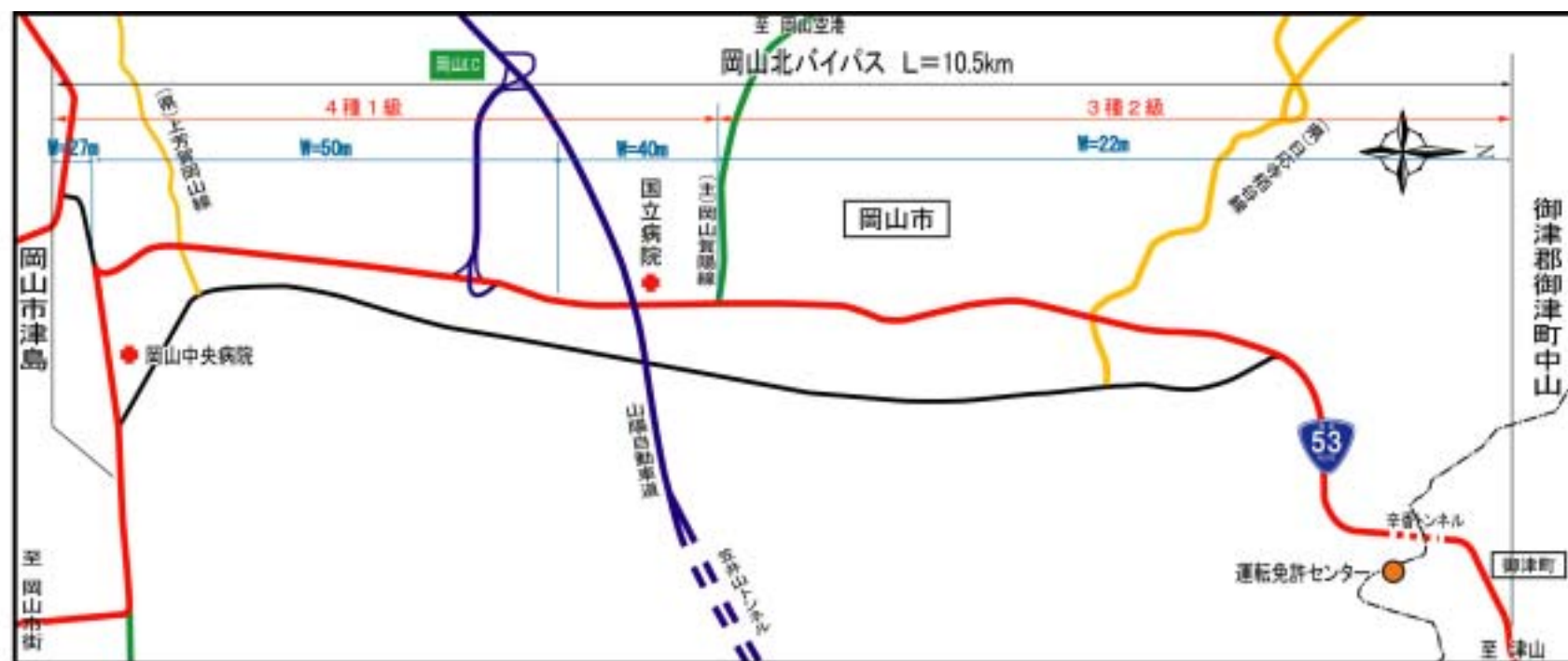
平成15年6月

国土交通省中国地方整備局

岡山北バイパス位置図



事業概要



起 終 点

(自)岡山市津島

(至)御津郡御津町中山

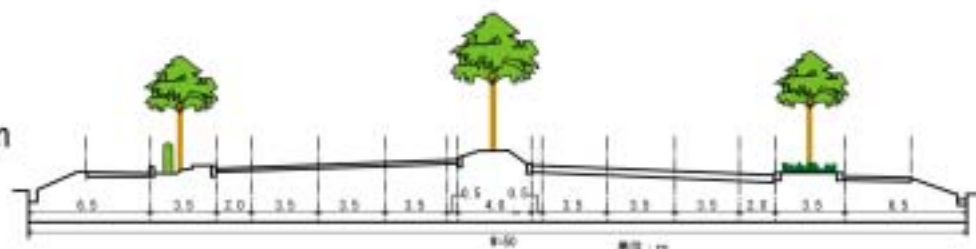
・計画延長 : $L=10.5\text{km}$

・幅 員 : $W=22\sim 50\text{m}$

・道路区分 : 第4種1級
: 第3種2級

・設計速度 : $V=60\text{km/h}$

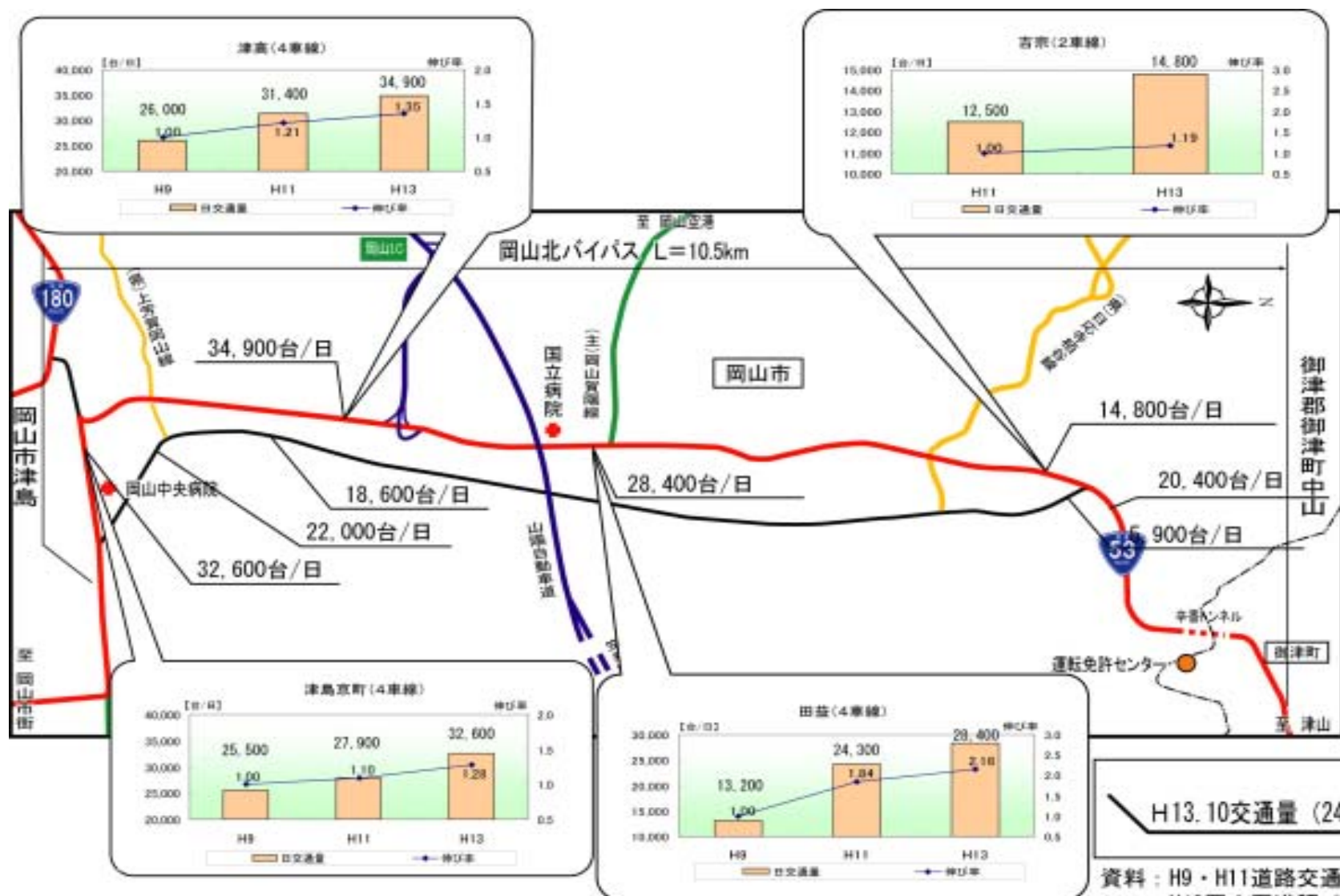
標準断面図 (完成)



現 道 の 状 況

● 交通量の推移

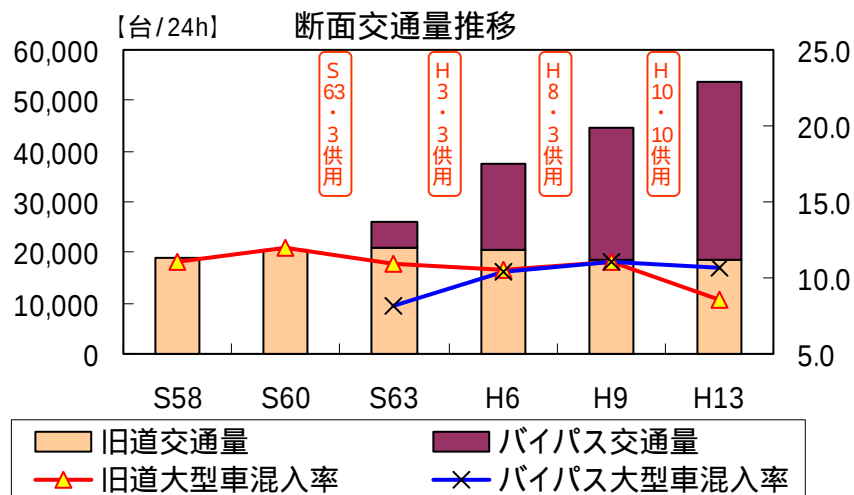
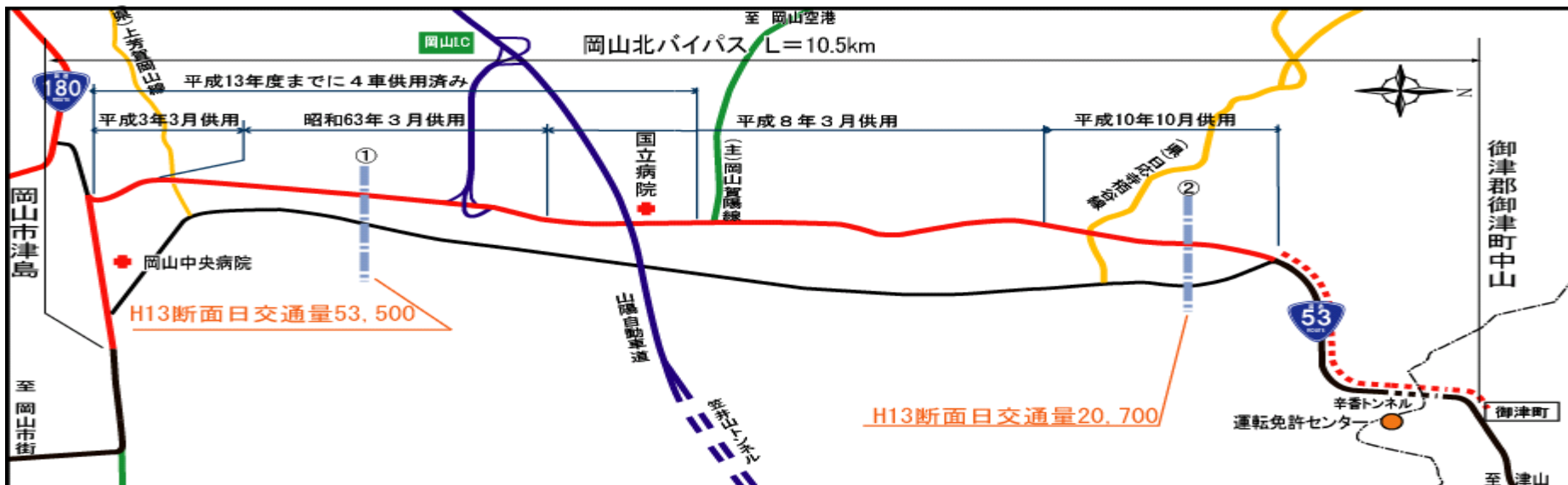
岡山北バイパス利用の交通量はバイパス整備とともに増大している。**(H9年度比1.19~2.16倍)**
 現在では4車線整備区間で**約3万5千台/日**、2車線整備区間で**約2万台/日**の利用がある。



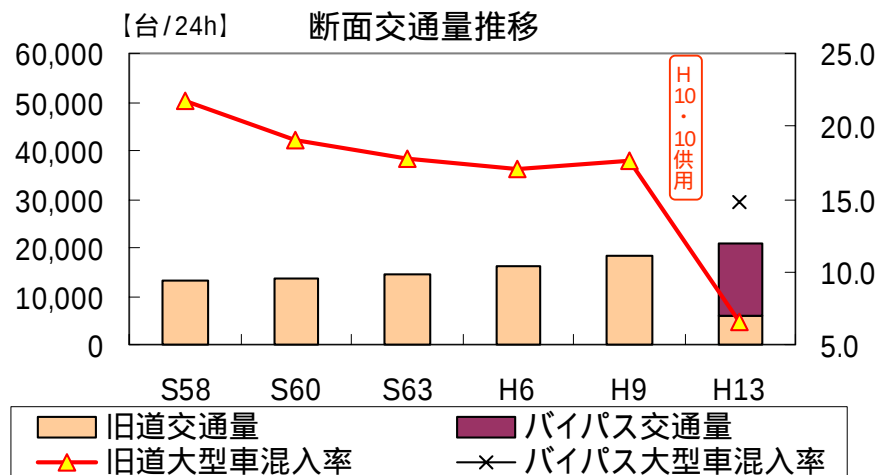
現道の状況

・交通分担

年々増加する交通量に対し、岡山北バイパスの段階的な供用に伴い、旧道からバイパスへの交通転換が図られている。

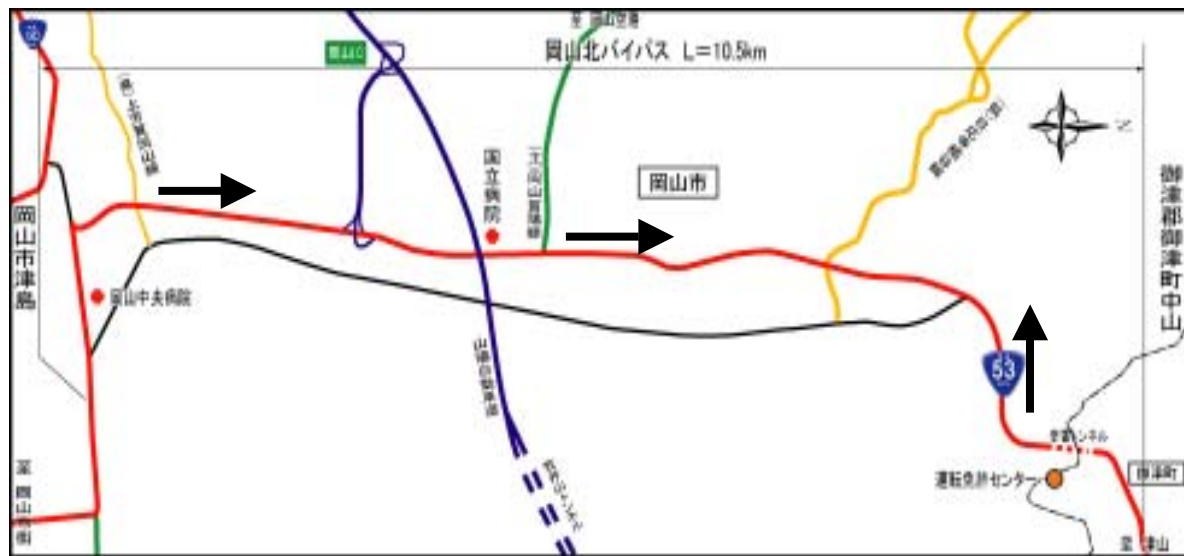


資料：道路交通センサス



現 道 の 状 況

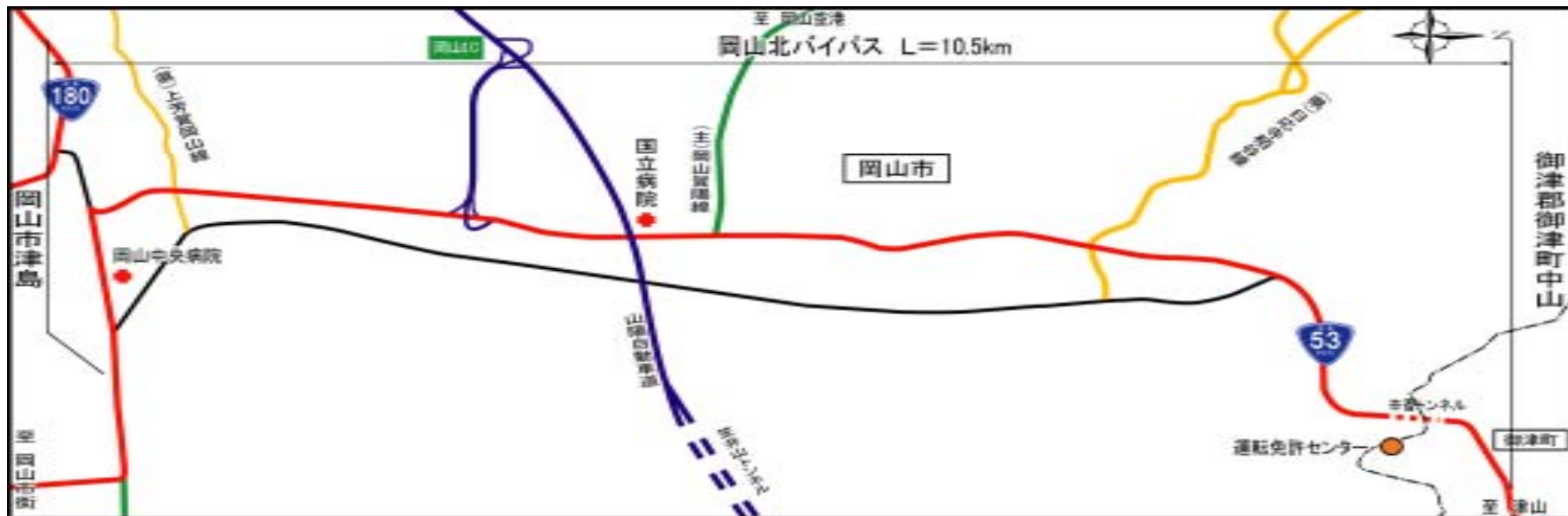
暫定2車線区間（首部地区等）及び辛香トンネル附近では、依然として交通混雑が著しい状況。



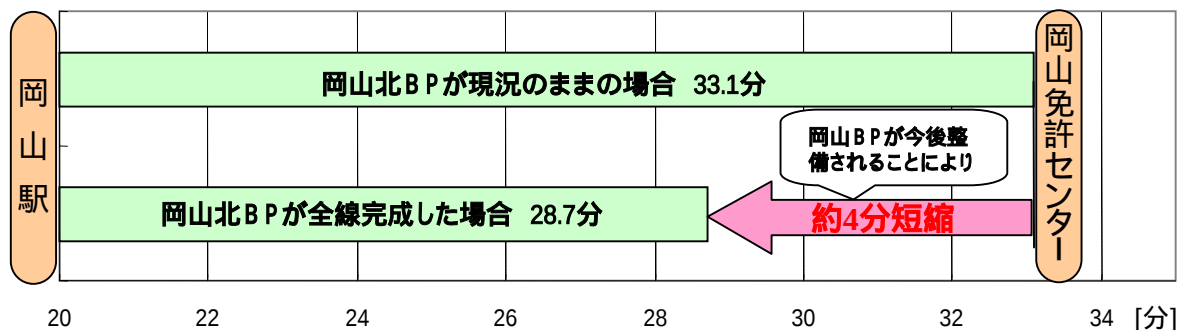
整備効果

● 時間短縮

- ・ 拡幅により時間の短縮が図られ、救急活動や産業活動の支援を行い、地域の活性化が図られる。



将来(H32)における、御津町中山～JR岡山駅間(L = 14.1km)の平均的な所要時間



整備効果

● 交通事故軽減

辛香トンネル附近は急勾配であり、交通事故件数が、交通量の増加に伴い年々増加しており、4車化整備により交通安全の向上が図られる。

